

ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社
(以下「ディズニー」という)

第九回ディズニージュニア放送番組審議会

議事録

- 開催日時 : 2016年04月18日(月) 14:00~14:30
開催場所 : 東京都港区虎ノ門1-23-1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
27F 会議室
- 在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 6
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
木下 美子
戸田 奈津子
名越 康文
前田 耕作
山田 顕喜
- その他、ディズニ : 編成部門担当者5名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニージュニアの番組編成・改編について
 - 2) ディズニージュニア放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
・「ライオン・ガード ゆうしゃのでんせつ」

審議の概要

1) ディズニージュニアの番組編成について

ディズニー・ジュニアの概要について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- 毎日夜 20:00 以降の「キラキラパジャマ」の時間帯では、11日(月)から「ケイトとミンミン」を放送開始。5歳の女の子ケイトとウサギのぬいぐるみのミンミンが不思議なファンタジーな世界へ行く内容の作品。
- 5月8日(日)からは、「おとぎのもりのゴールドィとベア」を放送開始。

いろいろな有名な童話のキャラクターが登場するシリーズ。

2) ディズニー・ジュニア放送番組について

ディズニー・ジュニア放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ライオン・ガード ゆうしゃのでんせつ』について：

- このテレビスペシャルは新シリーズ「ライオン・ガード」の序章に当たり、ストーリーの内容は、ライオン・キングであるシンバの息子カイオンが、仲間たちと新たにチームを結成して、プライドランドの平和を守る「ライオン・ガード」のリーダーとして成長していく、というもの。
- ディズニージュニアでは、6月25日にこの作品を放送し、シリーズ自体は夏ごろから放送開始する予定。
- これぞディズニー！という感じで、内容は素晴らしいと思った。一方で、「サークル・オブ・ライフ」という言葉が3回も出てきたが、子供には、言葉が少々分かりにくいのではないかと思う。たぶん、親も説明するのが難しいと思う。映画の字幕とは異なり、吹替えでは上手く訳してあげることができるはずなので、これも例えば「いのちのつながり」という感じにしたら分かりやすかったのではないか。ライオンガードたちそれぞれの呼び名も、例えば「見通せしもの」と言われても分からないので、意識してあげると良いと思う。
- 自分も同意見である。この「サークル・オブ・ライフ」という言葉は一番大事なテーマだと思うし、今はもう、親が子供といっしょに見る時代でもないのに、分かるようにしておいたほうが良いと思う。
- ミュージカル部分については、歌に日本語を乗せていくのは至難の技なのは十分知っているが、もうひと工夫できないかと思った。
- 口の動きに上手く合わせることも重要なポイントになる。
「サークル・オブ・ライフ」については映画「ライオン・キング」の名曲として既に広く認知されているため、それに合わせている。
- 自分も手伝った経験があるので分かる。難問だと思う。
- ミュージカルのシーンはすごく良い。
- リーダーの資格としてのモラルが出てくるのがテーマの一つと思う。親子共通で楽しめる。鍛えられて成長していくドラマのように感じた。
- ライオンガードになるときに、体に印が出てくるが、その意味とは？キリスト教では教えの中にそういうものがあるし、子供も考えるのでは？また、ムファサや過去のライオンたちがたくさん出てくるが、生命を一つ

の塊として表現していることは今まであまりなかったし、雲がライオンの形になっているのも興味深い。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので17：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。